

# 経営比較分析表（令和3年度決算）

兵庫県赤穂市 赤穂市民病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	300床以上～400床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	23	対象	透訓方	救急が感へ災地輪
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
46,039	32,911	-	第2種該当	7：1

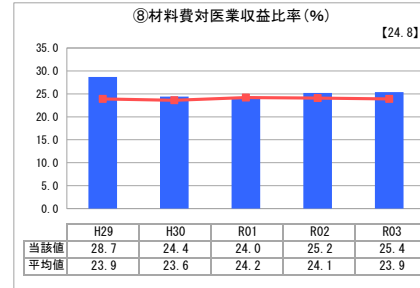
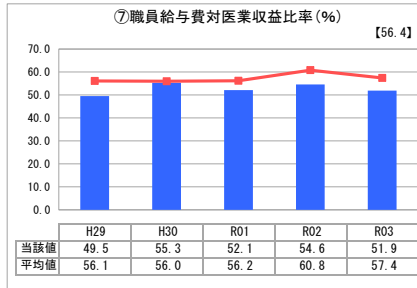
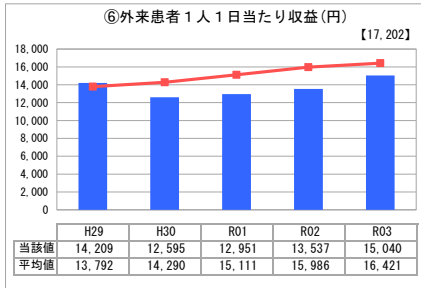
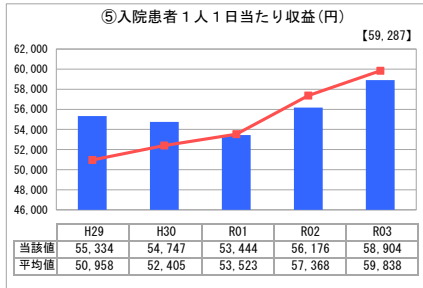
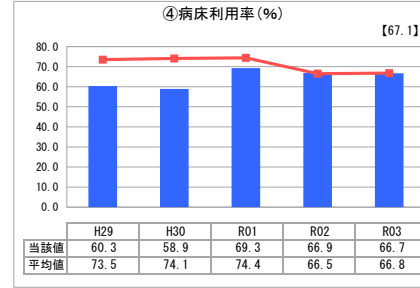
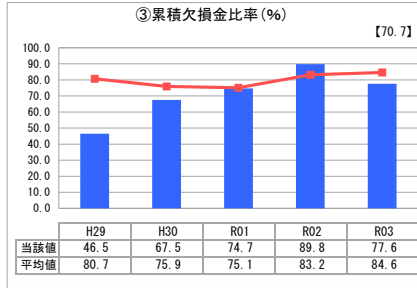
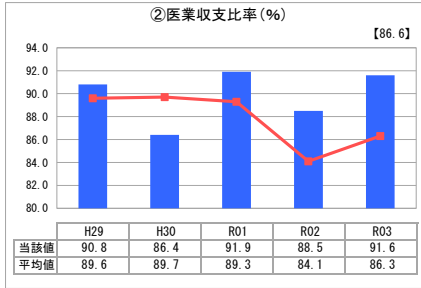
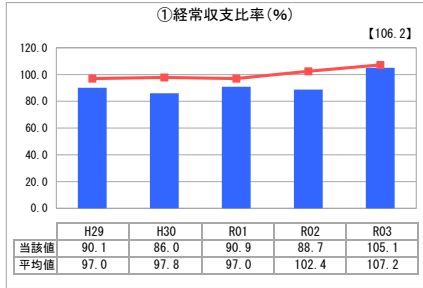
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

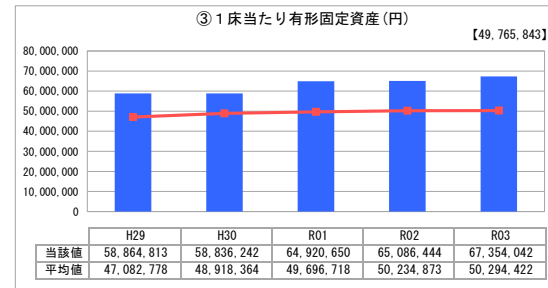
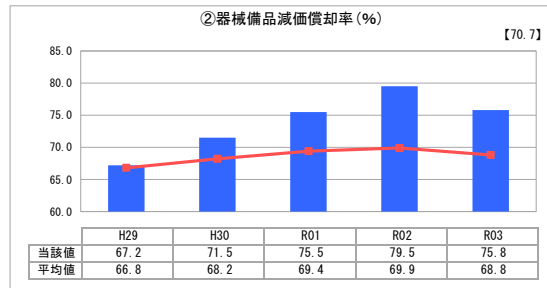
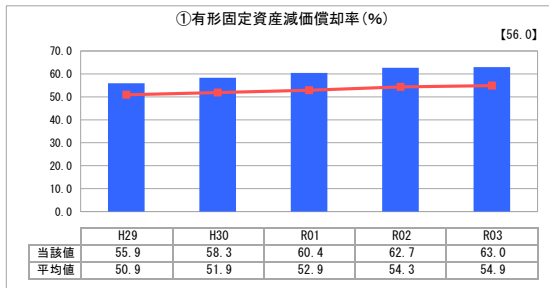
許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
356	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	4	360
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般＋療養）
322	-	322

■ 当該病院値（当該値）
— 類似病院平均値（平均値）
[ ] 令和3年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



※「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。

## 公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

再編・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
- 年度	- 年度	- 年度

## I 地域において担っている役割

当院は赤穂市のみならず西播磨地域の中核病院として23診療科を擁し、小児を含めた二次救急医療や地域がん診療連携拠点病院、災害拠点病院、地域医療支援拠点病院などの重要な役割を担っています。また、隣接する岡山県東部地域からの利用も多くみられます。

## II 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

令和3年度は、前年度に引き続き新型コロナウイルス感染症が拡大する中、兵庫県から重点医療機関として指定されたことから、感染患者の受入れ、治療に寄与するとともに、発熱外来を設置するなど市民の安全安心の確保のため公立病院として求められる役割を果たすことができました。また、呼吸器科に長年不在であった常勤医1名を配置したことにより肺がんなどの呼吸器疾患に広く対応できる体制となりました。その結果、医業収支比率、経常収支比率及び累積欠損金比率が改善しました。

### 2. 老朽化の状況について

当院は、平成10年2月に新築移転してから20年を超過し、建物や設備に不具合が目立っているため、今後計画的な更新や維持修繕を行っています。医療機器については、計画的な更新に加え、進化する医療に対応すべく新規医療器械についても費用対効果を考慮し導入を行っています。また、医療の安全安心な提供のため、機器ごとに保守契約を締結し適切な管理を行っています。平成30年3月に二期構想による増改築事業が完了し有形固定資産が増加しています。

## 全体総括

令和3年度は、入院収益及び外来収益ともに前年度より増加し、黒字決算となりましたが、引き続き経営状況は逼迫した状況にあり、長年続く赤字により資金は枯渇し、一時借入金に頼らざるを得ない経営環境となっています。安全安心かつ持続的な医療提供体制の維持には、健全経営が不可欠ことから、外部有識者による「赤穂市民病院経営検討委員会」からの提言を尊重し、全力で経営改善に取り組むこととし、その進捗状況を的確に把握し、専門家等による定期的な検証等の取り組みを着実に進めてまいります。